

3. 地域公共交通の現状

3.1 路線バス

(1) 運行状況（2023（令和5）年9月時点）

- ・道南バス（株）が運行している平取町内の路線バスは、日高ターミナルから振内案内所、平取を經由して富川高校前に至る便が往復計5便、平取と静内を結ぶ便が往復計4便、平取と苫小牧を結ぶ便が往復計2便（鷗川駅前までの便も1便）、平取から富川高校前や門別警察署前に至る便が往復計4便運行されているほか、それらの運行ルート上で、起終点が異なる便（振内案内所～平取、富川高校～振内案内所など）が計5便運行されています。
- ・なお、貫気別⇄平取の便は、2021（令和3）年度までは貫気別発の便が5便、貫気別着の便が4便運行していましたが、2022（令和4）年度に、貫気別⇒平取の1便（貫気別⇒富川高校前）のみに減便され、2023（令和5）年度には残されていた1便も廃止されたため、現在は、貫気別や芽生、旭等の国道237号沿線以外の地区は、路線バスが運行されていません。

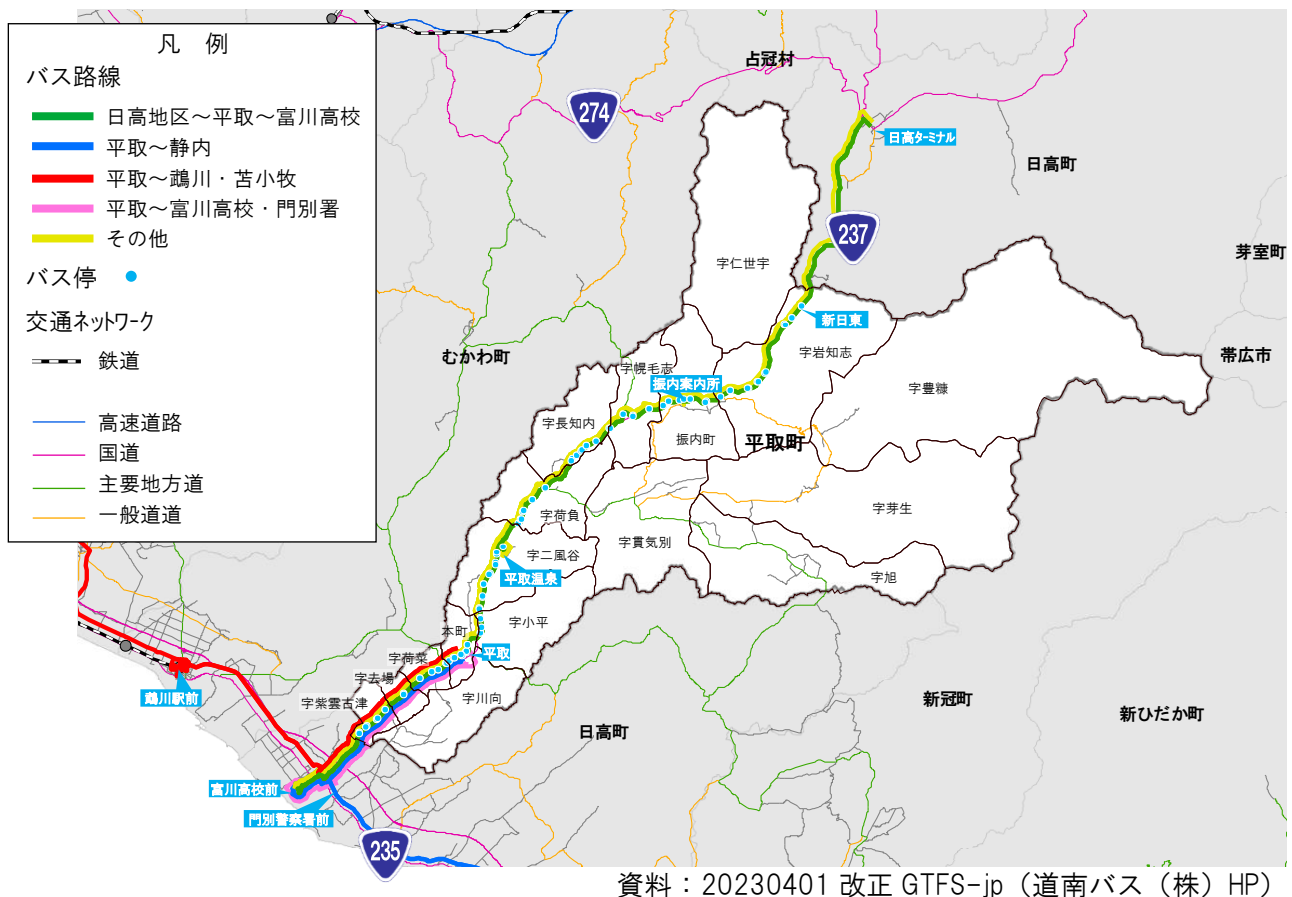


図 3.1 町内バス路線の運行ルート

■ 日高地区⇒平取町⇒門別地区⇒苫小牧市・静内町 方向【上り方向】

日高ターミナル				6:20		7:20			新日東		15:00	
三岡橋				6:26		7:26			12:22		15:06	
上岩知志				6:39		7:39			12:23		15:19	
仁世宇				6:48		7:48			12:32		15:28	
振内案内所				6:56		7:56	10:30		12:39		15:35	
幌毛志中央				7:02		8:02	10:36		12:46		15:42	
長知内				7:08		8:08	10:42		12:51		15:48	
荷取温泉				7:13		8:13	10:47		12:57		15:53	
資料館前				↓		↓	10:56		13:06		16:02	
平取	◆6:10	6:45	7:10	7:29	◇7:53	8:29	11:10	12:35	13:18	15:10	16:14	◇17:40
荷取菜場	6:14	6:49	7:14	7:33	7:57	8:33		12:39	13:22	15:14	16:18	17:44
去雲古津	6:18	6:53	7:18	7:37	8:01	8:37		12:43	13:26	15:18	16:22	17:48
紫雲古津	6:22	6:57	7:22	7:41	8:05	8:41		12:47	13:30	15:22	16:26	17:52
富川市街	6:30	7:05	7:30	7:49	8:13	8:49		↓	13:38	15:30	16:34	18:00
富川高校前	↓	↓	7:33	7:52	8:16	8:52		↓	13:42	15:34	16:38	18:04
富川大町	6:31	7:06	静内					静内				
門別競馬場前	6:35	7:10	8:49					14:06				
イモッペ地藏堂前	6:43	7:18										
鵠川駅前	6:52	7:24										
苫小牧駅前		8:37										

■ 苫小牧市・静内町⇒門別地区⇒平取町⇒日高地区 方向【下り方向】

苫小牧駅前					11:25							
鵠川駅前					12:29							
イモッペ地藏堂前					12:35							
門別競馬場前					12:44							
富川大町					12:48							
富川高校前		9:20			↓		15:31	15:55	18:20			
富川市街		9:23	↓		↓		15:34	15:58	18:23			
紫雲古津		9:26	↓		12:49		15:37	16:01	18:26			
去雲古津	7:36	9:33	10:42		12:56		15:44	16:08	18:33			
荷取菜場	7:40	9:37	10:46		13:00		15:48	16:12	18:37			
平取	7:44	9:41	10:50		13:04		15:52	16:16	18:41			
資料館前	7:50	9:45	10:56	11:10	13:15	13:30	15:59	16:20	18:45			
取温泉		9:54		11:19		13:39		16:29	18:54			
荷取温泉		↓		11:24		13:43		16:33	↓			
荷取温泉		10:02				13:52		16:42	19:02			
長知内		10:07				13:57		16:47	19:07			
幌毛志中央		10:13				14:03		16:53	19:13			
振内案内所		10:20				14:10		17:00	19:20			
仁世宇						14:16		17:06	19:26			
上岩知志						14:25		17:15	19:35			
三岡橋						14:38		17:28	19:48			
日高ターミナル						14:46		17:36	19:56			

※太枠区間 日曜祝日は運休

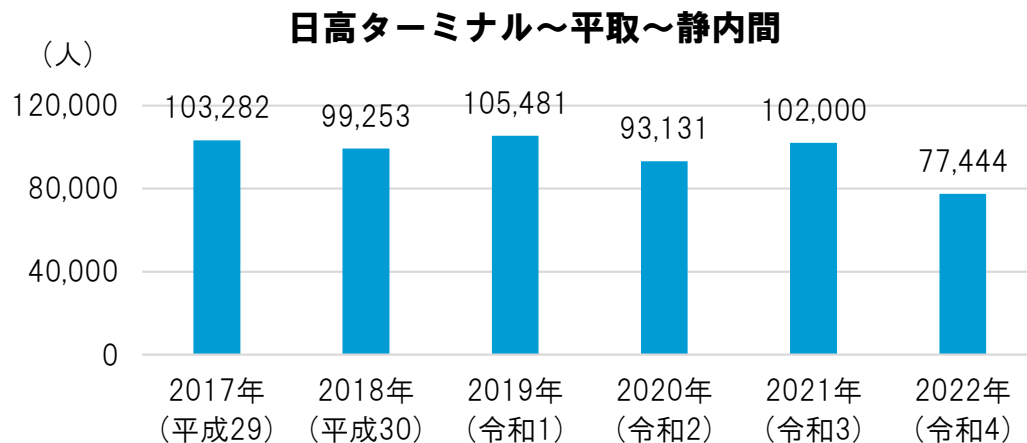
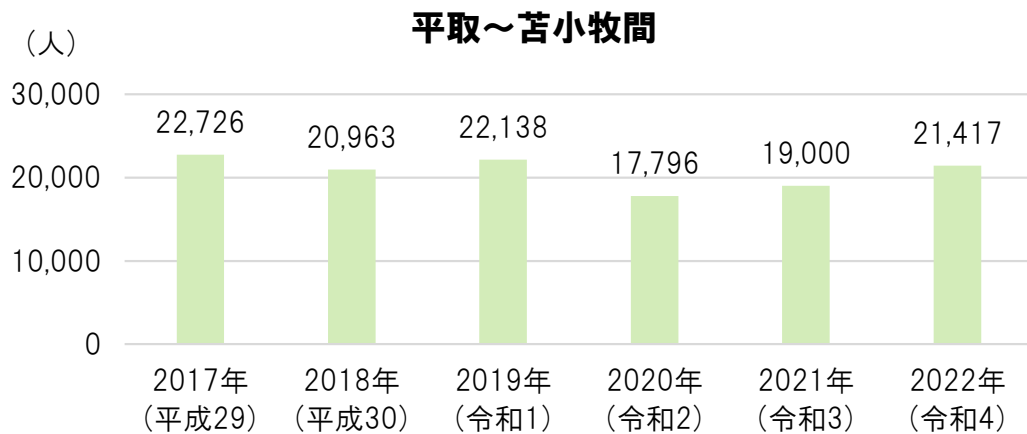
日高地区～平取～富川高校【上り 3 便・下り 2 便】	平取～静内【上り 2 便・下り 2 便】
平取～鵠川・苫小牧【上り 2 便・下り 1 便】	
平取～富川高校・門別署【上り 3 便・下り 1 便】	
その他【上り：振内案内所～平取 1 便、新日東～富川高校 1 便、 下り：富川高校～振内案内所 1 便、平取～平取温泉 1 便、平取～日高ターミナル 1 便】	

資料：道南バス主要停留所時刻表〔静内・平取・日高版〕2023 年 4 月 1 日改正
(道南バス(株) HP)

図 3.2 平取町内を運行する路線バス 時刻表(2023 年 4 月 1 日改正)

(2) 利用状況

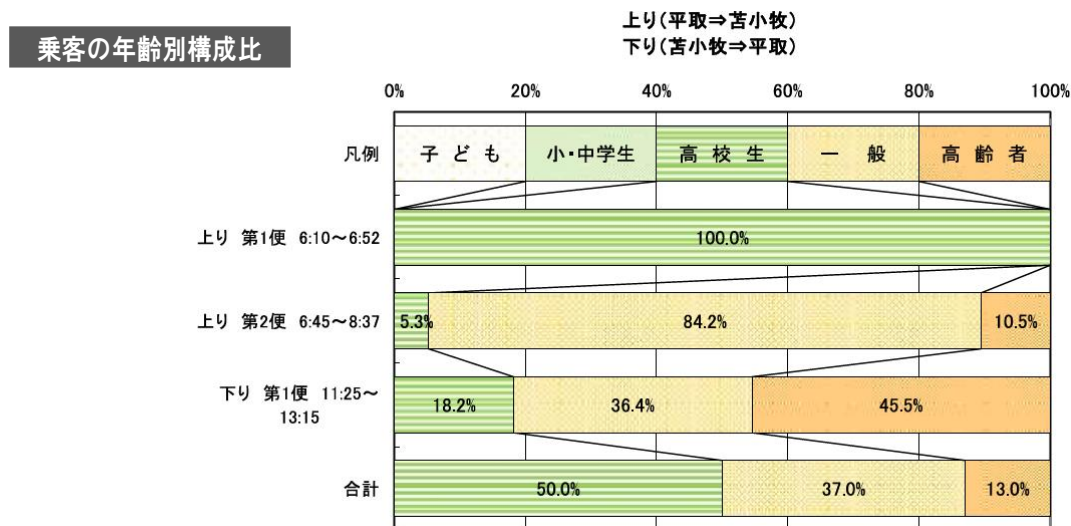
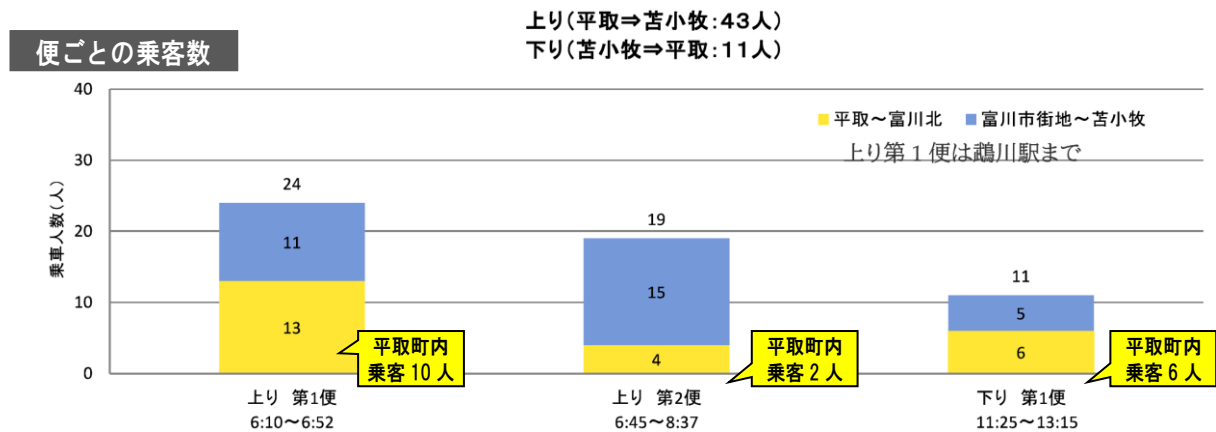
- 路線バスの年間利用者数は、2017（平成 29）年～2021（令和 3）年は概ね同程度で推移していましたが（2018（平成 30）年は北海道胆振東部地震等の影響によりやや少ない）、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した 2020（令和 2）年には、前年から大きく減少しています。
- 2021（令和 3）年は 2020（令和 2）年と比較して増加傾向にあります。2022（令和 4）年は、平取～苫小牧間は、2017（平成 29）年～2019（令和元）年に近い水準まで回復していますが、日高ターミナル～平取～静内間は、2022（令和 4）年 4 月に貫気別発着便が大幅に減便したこともあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた 2020（令和 2）年よりも減少しています。



資料：道南バス提供資料

図 3.3 平取～苫小牧間 及び 日高ターミナル～平取～静内間の利用者数の推移
【2017（平成 29）年～2022（令和 4）年】

- ・日高地域公共交通計画（2023（令和5）年6月）の策定に向けて2022（令和4）年9月及び11月に実施されたバス乗降調査では、各路線の各バス停における乗降者のカウント調査、バス乗客へのヒアリング調査が実施されています。
- ・苫小牧～平取間の路線バスの乗降者数のカウント調査は、下記の結果となっています。
 - 苫小牧～平取間の3便は、平取⇒鵜川駅前第1便の乗客数が最も多く、10人が平取町内で乗車して日高町（富川）等で降車しています。苫小牧⇒平取の第1便は、6人が苫小牧等で乗車して平取町内で降車しています。
 - 乗客の属性は、平取⇒苫小牧方向については、第1便（鵜川駅前行き）は全て「高校生」ですが、第2便（苫小牧駅前行き）は「一般」が約85%を占めます。苫小牧⇒平取方向の第1便は「高齢者」が最も多く（約45%）、次いで「一般」が多くなっています（約35%）。



資料：日高地域公共交通計画 各種アンケート等ニーズ調査編
(2023（令和5）年6月、北海道日高地域公共交通活性化協議会)

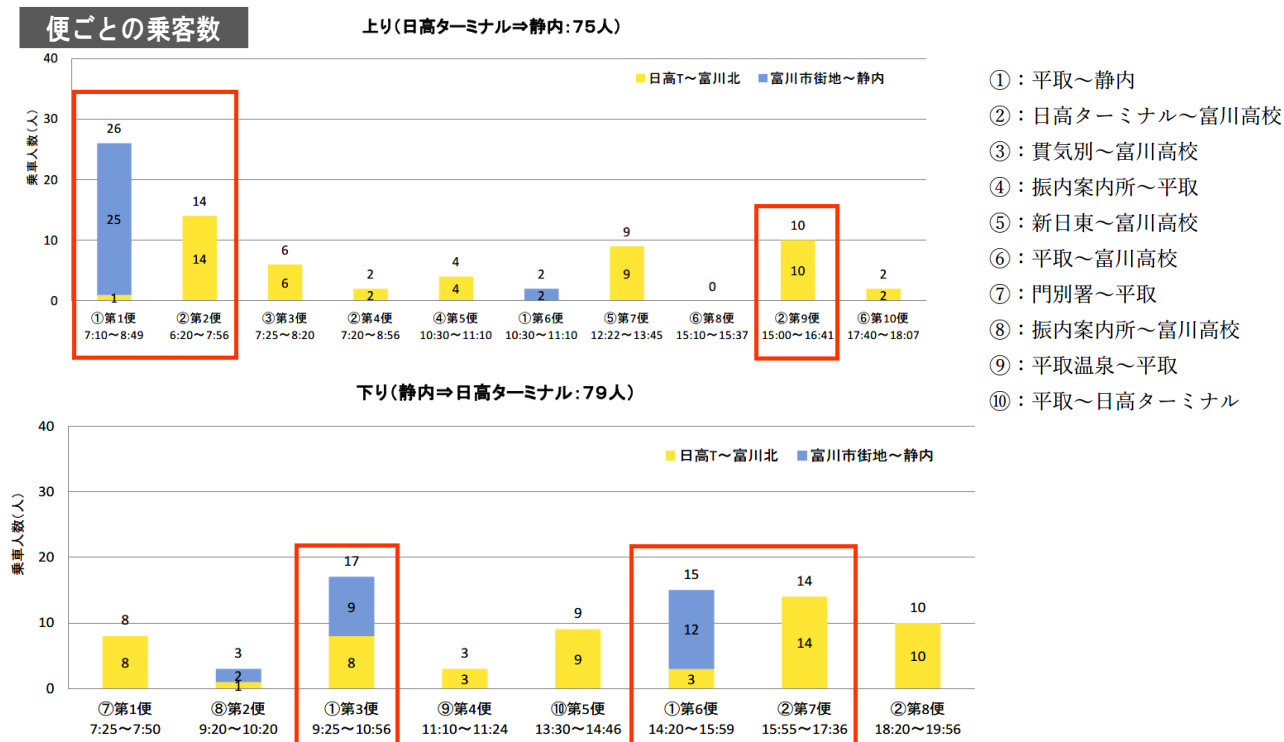
図 3.4 路線バス「苫小牧～平取間」のカウント調査結果

- ・日高ターミナル～平取～静内間の路線バスの乗降者数のカウント調査は、下記の結果となっています。

●本路線は下図の右側に示す①～⑩の10系統があり、日高⇒静内方面で利用が多い便は、7時台発の第1便（①平取⇒静内）が26人、6時台発の第2便（②日高ターミナル⇒富川高校）が14人、15時台発の第9便（⑨平取温泉⇒平取）が10人となっています。ただし、第1便（①平取⇒静内）は、95%以上が平取町外の利用です。また、その他の便は、第7便（⑤新日東⇒富川高校）は9人、第3便（③貫気別⇒富川高校）は6人の利用がありますが、それ以外の5便の利用者数は5人未満となっています。

静内⇒日高方面の便は、9時台発の第3便と第6便以降（14時以降の便）の利用者が多くなっています。ただし、第3便及び第6便（①静内⇒平取）は、いずれも平取町外の利用が多くなっています。

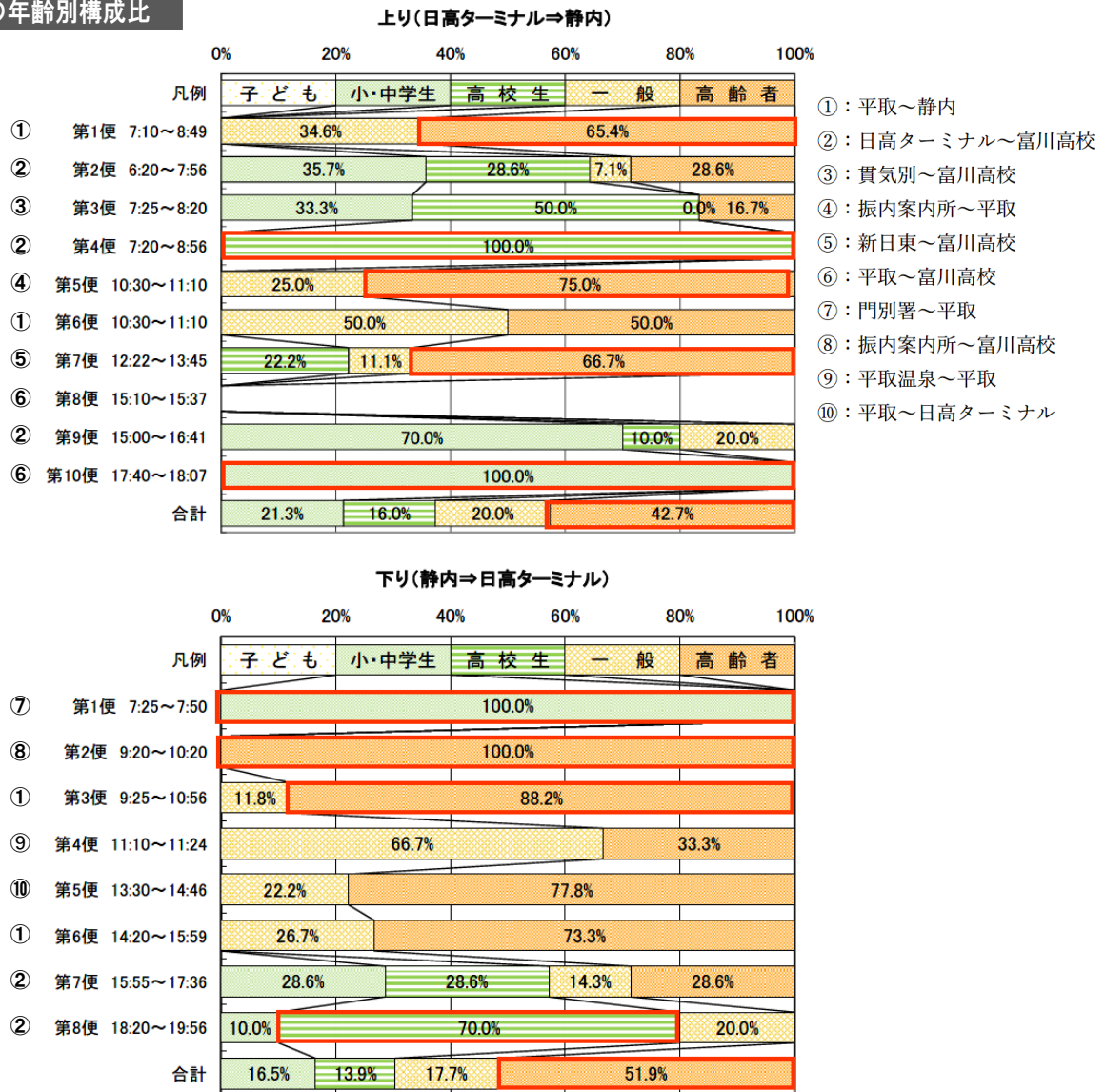
●乗客の属性は、全便を見ると、両方向ともに「高齢者」が40～50%と最も多くなっています。小・中学生は、静内⇒日高方面の7時台発の第1便（⑦門別署⇒平取）、日高⇒静内方面の17時台発の第10便（⑥平取⇒富川高校）で100%を占め、日高⇒静内方面の15時台発の第9便（②日高ターミナル⇒富川高校）も70%を占めます（紫雲古津、去場等から本町の平取中学校への通学など）。高校生は、日高⇒静内方面の7時台発の第4便（②日高ターミナル⇒富川高校、100%）や第3便（③貫気別⇒富川高校、約50%）、日高⇒静内方面の19時台発の第8便（②富川高校⇒日高ターミナル、70%）を主に利用しています（平取町内から富川高校への通学）。



資料：日高地域公共交通計画 各種アンケート等ニーズ調査編
(2023(令和5)年6月、北海道日高地域公共交通活性化協議会)

図 3.5 路線バス「日高ターミナル～平取～静内間」のカウント調査結果【便毎の乗客数】

乗客の年齢別構成比



資料：日高地域公共交通計画 各種アンケート等ニーズ調査編
(2023(令和5)年6月、北海道日高地域公共交通活性化協議会)

図 3.6 路線バス「日高ターミナル～平取～静内間」のカウント調査結果【乗客の年齢別構成比】

- 苫小牧～平取間及び日高ターミナル～平取～静内間のバス乗客へのヒアリング調査は、下記の結果となっています。
- 利用者の最終目的地は、「苫小牧～平取間」は「苫小牧市」が最も多く（約45%）、次いで「日高町門別」が約20%になっています。「日高ターミナル～平取～静内間」は「平取町」が最も多く（約45%）、次いで「日高町門別」が約20%です。
- 年齢層は、「苫小牧～平取間」は「20代」が最も多く（約35%）、次いで高校生や中学生を含む「10代」が約30%です。「日高ターミナル～平取～静内間」は高校生や中学生を含む「10代」が最も多く（約35%）、次いで高齢者である「70代」が約25%です。
- 外出の目的は、「苫小牧～平取間」は「通勤」が最も多く（約40%）、次いで「通学」が約25%です。通勤は主に、苫小牧市居住者の苫小牧市内の利用と推察されます。「日高ターミナル～平取～静内間」は「通学」と「買物・飲食」が最も多く（約25%）、次いで「通院・治療」が約15%です。高校生・中学生といった「10代」の「通学利用」、「70代」や「80歳以上」等の高齢者の「買物・飲食」や「通院・治療」等の生活利用が多いと推察されます。

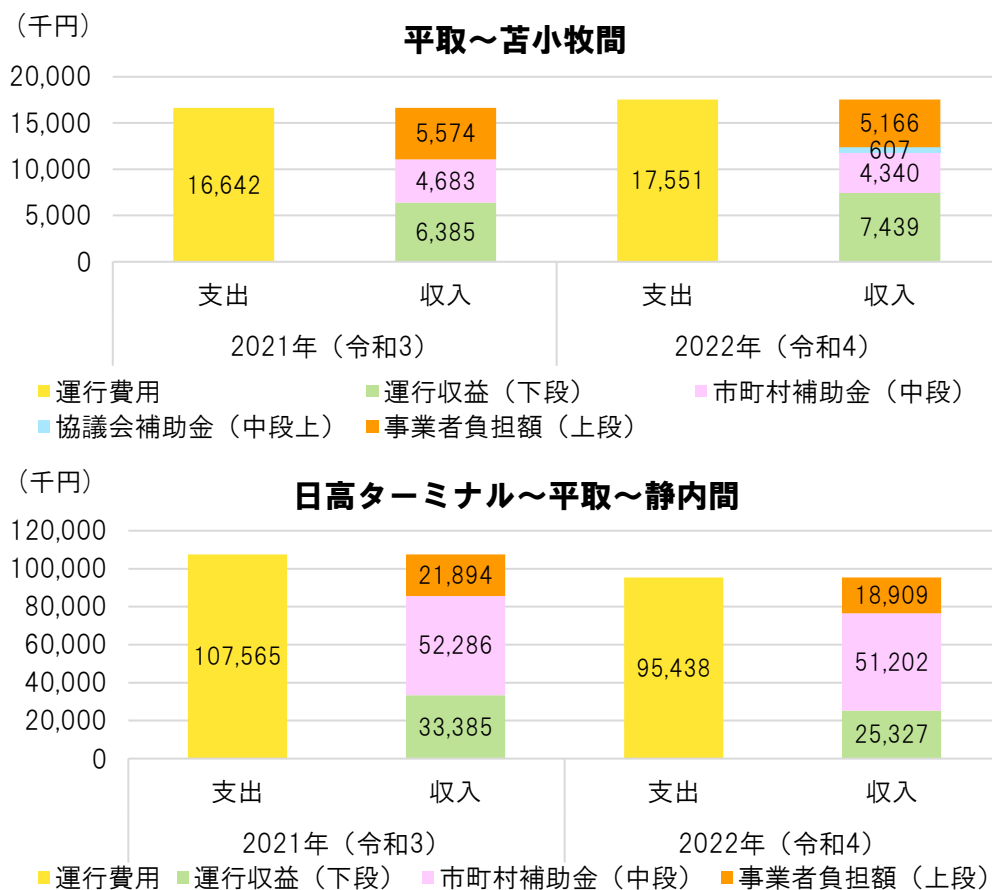


資料：日高地域公共交通計画 各種アンケート等ニーズ調査編
(2023 (令和 5) 年 6 月、北海道日高地域公共交通活性化協議会)

図 3.7 路線バス「苫小牧～平取間」「日高ターミナル～平取～静内間」ヒアリング調査結果

(3) 収支状況 及び 町の支出補助額

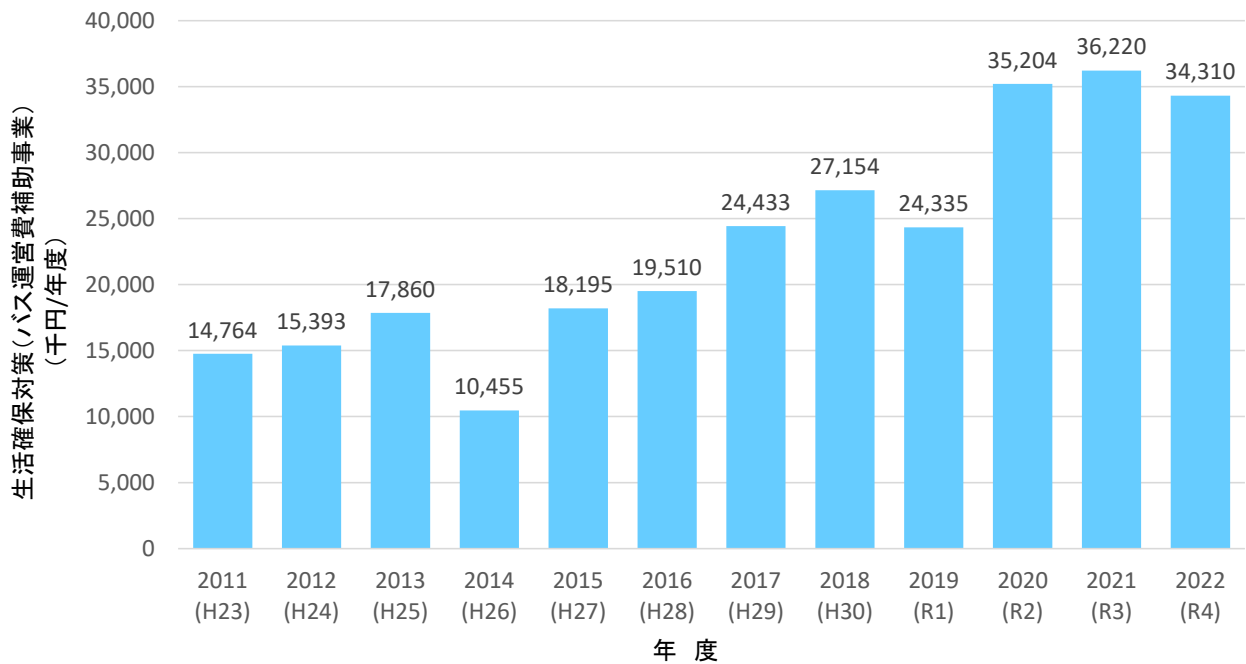
- 「平取～苫小牧間」と「日高ターミナル～平取～静内間」のいずれも、支出（運行費用）が運行収益を大きく上回っており、欠損額（支出－運行収益）を運行事業者の負担と平取町を含めた沿線市町村による補助等でまかなって、運行を維持している状況にあります。
- 運行収益が支出の40%程度の「平取～苫小牧間」は、欠損額の50%以上を運行事業者が負担しています。一方、「日高ターミナル～平取～静内間」は、運行収益が支出の30%程度とさらに収支率が低く、欠損の約70%を市町村の補助金でまかっています。また、2022（令和4）年4月に貫気別発着便が大幅に減便したこともあり、運行費用は約10%減少しましたが、運行収益は約25%も減少したため、収支率がさらに低下し、市町村の補助金の割合がより高くなっています。



資料：道南バス提供資料

図 3.8 平取～苫小牧間及び日高ターミナル～平取～静内間の収支状況
【2021（令和3）年・2022（令和4）】

- 路線バスの収支率が低い中で、欠損額を運行事業者と平取町を含む沿線市町村による補助でまかなっており、平取町が支出している路線バス運行に関する補助（生活確保対策（バス運営費補助事業））は年々増加しています。
- 特に、2020（令和2）年以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のほか、2019（令和1）年に平取～貫気別間の路線バスについて、利用者数の減少により道補助の基準を満たすことができなくなったため、道南バスとの協議により欠損額の2分の1を町が負担することとなったことが大きく影響し、負担額が増加しています。



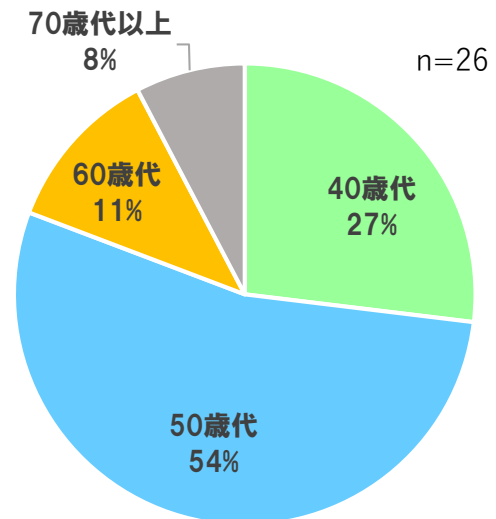
資料：平取町資料

図 3.9 路線バス運行に係る補助金（生活確保対策（バス運営費補助事業））の推移

(4) バス運転手の実情

- 路線バス運行事業者の日高地域の営業所に在籍するバス運転手は、令和6年1月時点で26名であり、全国における傾向と同様に、運転手が不足しています。
- さらに、バス運転手の年齢構成を見ると、50歳代以上が約75%を占めており、40歳代未満がない状況にあります。バス運転手の高齢化に加えて、バス運転手の求人に対する応募者がいない現状も考慮すると、今後のバス路線の運行維持に支障をきたす可能性があります。

バス運転手の年代・営業所別人数			
年代	平取 営業所	静内 営業所	合計
40歳代	4	3	7
50歳代	5	9	14
60歳代	1	2	3
70歳代以上	2	0	2
合計	12	14	26



資料：道南バス提供資料

図 3.10 日高地域のバス運転手の人数・年齢構成

3.2 平取町デマンドバス

(1) 運行状況

- ・平取町デマンドバスは、2023（令和 5）年度現在で、下記の 3 地区で運行しています。
 - 本町地区（本町・荷菜・去場・紫雲古津・川向⇄日高町富川）
 - 振内地区（振内・岩知志⇄本町）
 - 貫気別地区（貫気別・荷負⇄本町）
- ・いずれの地区でも「予約制・定時定路線」で運行しており、財源として、アイヌ政策推進交付金（内閣府）を活用しています。月～金曜日（祝日を含む）に運行しており、利用日の前日 18 時までに予約をする必要があります。
- ・本町地区と振内地区のデマンドバスは、試験運行等を経て、2012（平成 24）年 10 月から乗車運賃 100 円で本格運行を開始していましたが、2020（令和 2）年 1 月 5 日から運行エリア・ルート変更に伴い試験運行に移行し、現在まで試験運行を継続しています（試験運行期間は乗車運賃無料）。
- ・貫気別地区のデマンドバスは、2022（令和 4）年 4 月の路線バス（道南バス運行）の貫気別発着便の大幅減便に伴い、減便のタイミングに合わせて、その代替交通として試験運行を開始しています（乗車運賃無料）。

【現在の運行概況】

- ・運行主体：平取町
- ・運行方法：予約制、定時定路線運行
- ・運賃：無料（試験運行期間中）
- ・財源：アイヌ政策推進交付金（内閣府）
- ・利用方法：利用日前日(午後 6 時)までに予約（運行事業者への電話により予約）
- ・利用対象：どなたでも利用可（ただし、通学目的の利用不可）
- ・運行日：月～金曜日（土日及び 12/30～1/4 運休、土日以外の祝日は運行）
- ・運行事業者：本町地区・貫気別地区（有）平取ハイヤー、振内地区（有）振内交通
- ・運行車両：本町地区 13 人乗車可能、振内地区・貫気別地区 9 人乗車可能
- ・運行範囲：

本町地区	本町・荷菜・去場・紫雲古津・川向及び日高町富川、
振内地区	振内・岩知志及び貫気別・本町
貫気別地区	貫気別及び荷負・二風谷・小平・本町
- ・運行便数：

本町地区	富川⇒平取（本町）方面 3 便・平取（本町）⇒富川方面 4 便
振内地区	岩知志⇄振内間 2 便・振内⇒貫気別⇒本町方面 1 便
貫気別地区	本町⇒貫気別方面 3 便・貫気別⇒本町方面 1 便

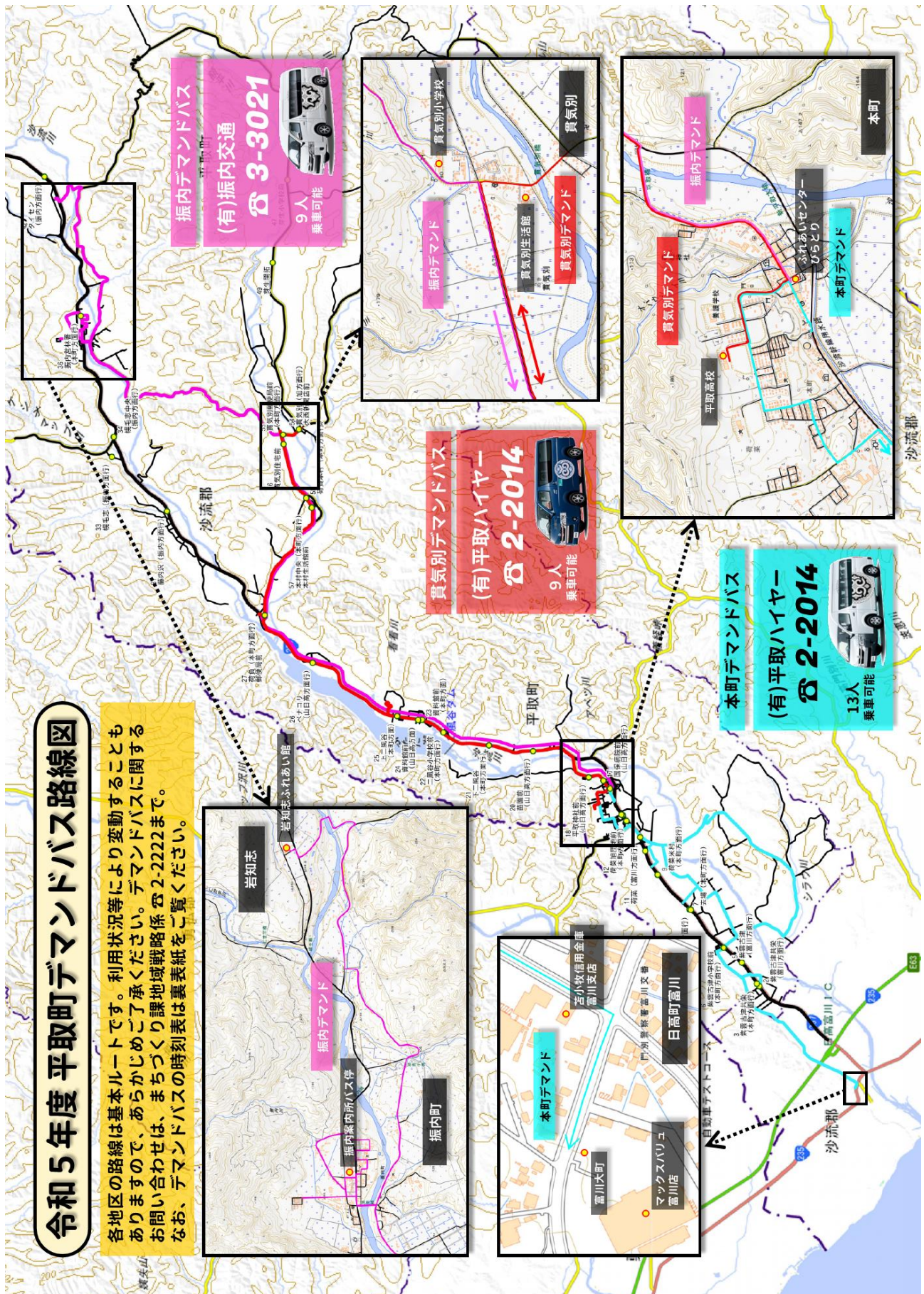
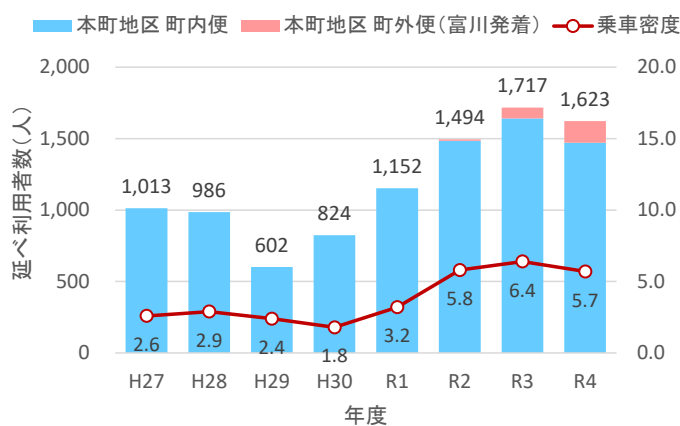


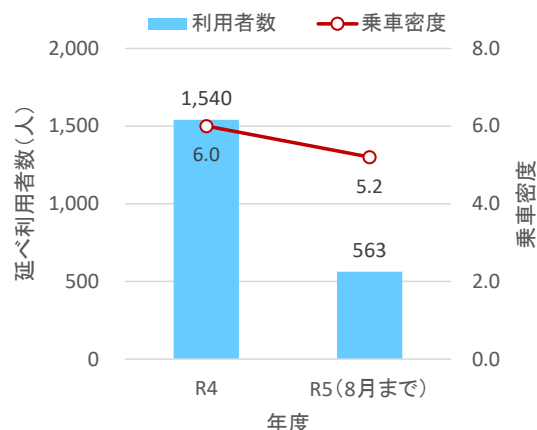
図 3.11 2023 (令和5) 年度 平取町デマンドバス路線図

(2) 利用状況

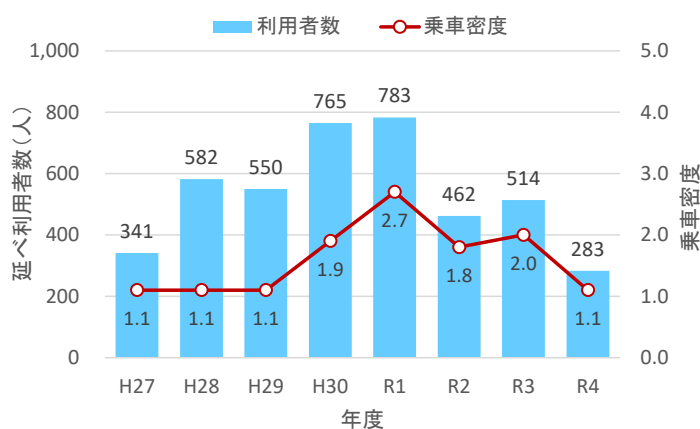
- ・本町地区デマンドバスの年間述べ利用者数は、乗車運賃 100 円の H27～H30 は 600～1,000 人程度でしたが、2020（令和 2）年 1 月の無料化（試験運行として運行）以降に増加し、2021（令和 3）、2022（令和 4）年度は 1,600～1,700 人になっています。また、乗車密度も 2～3 人程度から 6 人前後に倍増しています。2020（令和 2）年 1 月の試験運行から日高町富川大町への運行が開始されましたが、その利用者は徐々に増加し、2022（令和 4）年度には約 150 人（平取地区デマンドバス利用者の約 1 割）に達しています。
- ・振内地区デマンドバスの年間述べ利用者数は、2020（令和 2）年 1 月 4 日までは乗車運賃 100 円で、以降に無料化（試験運行として運行）されましたが、利用者数は無料化前の 2018（平成 30）、2019（令和元）年度の方が多く（750 人以上）、無料化後の方が減少しています。乗車密度も無料化前の 2019（令和元）年度が最大であり、他地区と比較すると少なくなっています。
- ・貫気別地区デマンドバスは、運行初年度の 2022（令和 4）年度は、述べ利用者数が 1,500 人を超えて、本町地区デマンドバスと近い利用者数になっており、乗車密度 6.0 人も本町地区デマンドバスよりも多くなっています。



【本町地区デマンドバス】



【貫気別地区デマンドバス】



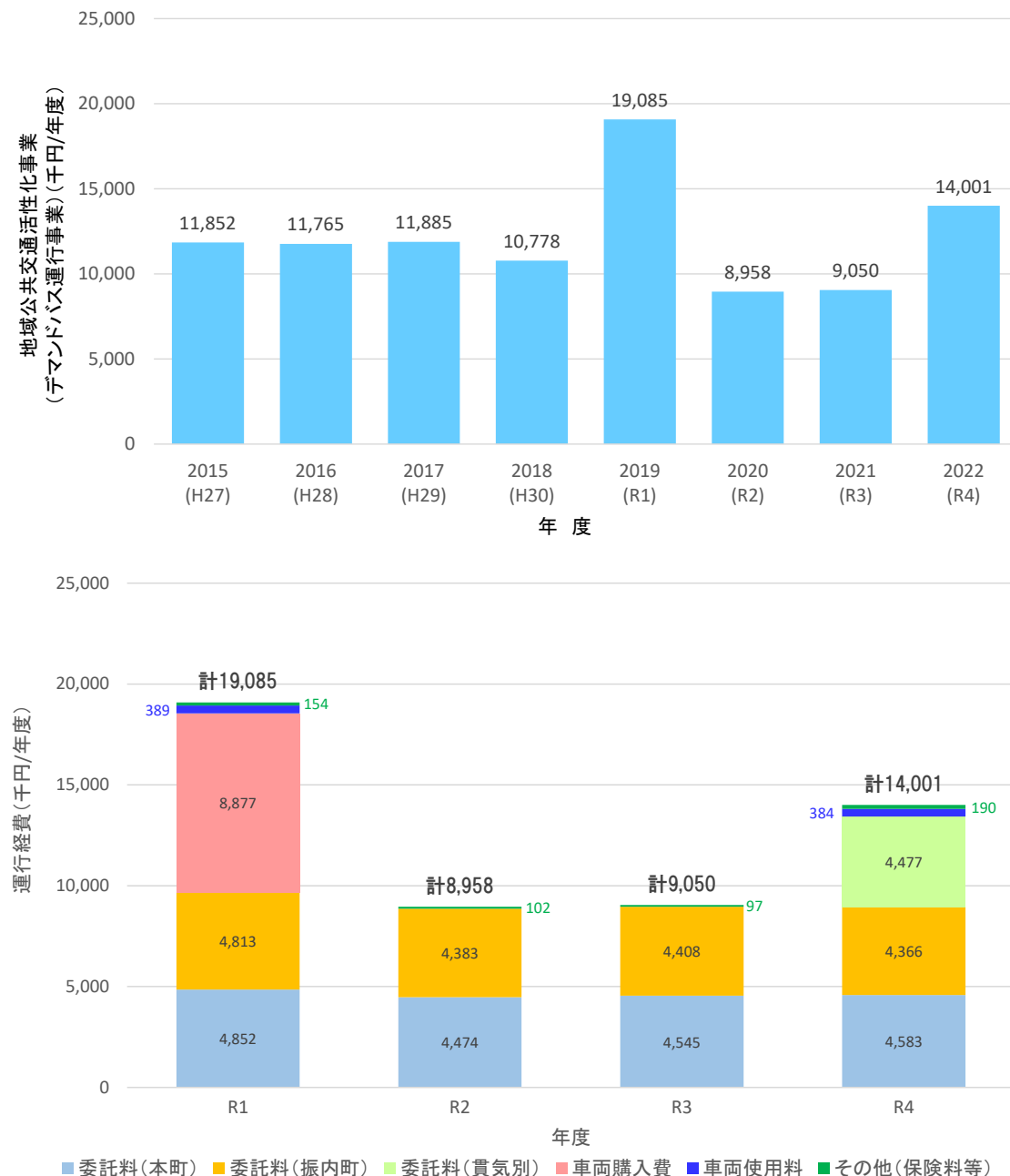
【振内地区デマンドバス】

資料：平取町資料

図 3.12 デマンドバスの利用者数

(3) 運行経費

- 平取町デマンドバスの運行経費（運行委託料、燃料費含む）は、2013（平成27）～2018（平成30）は1,200万円弱、それ以降は、2019（令和元）年度の車両購入費を除くと、各地区450万円程度の運行経費となっており、本町地区と振内地区の2地区で運行された2021（令和3）年度までは計900万円程度、貫気別地区を含めて3地区で運行された2022（令和4）年度は1,400万円程度となっています。



資料：平取町資料

図 3.13 デマンドバス運行経費の推移
（上：2015～2022 年度の運行経費、下：直近 4 年度の運行経費の詳細）

3.3 タクシー・ハイヤー等

- ・町内には、ハイヤー・タクシー会社が3社（介護・福祉タクシー会社1社を含む）あり、本町1社、振内町2社が営業しています。
- ・各社の車両やドライバーは多くなく、ドライバーの高齢化も進んでいることから、ハイヤー事業の継続に課題があります。

表 3.1 町内のタクシー・ハイヤー事業者の車両数・ドライバー数等

No	事業者名	所在地	車両数	ドライバー数	備考
1	(有) 平取ハイヤー	本町 32-4	2 台（普通 2）	1 人（60 歳代）	
2	(有) 振内交通	振内町 27-22	2 台（普通 1・大型 1）	2 人（50 歳代 1・60 歳代 1）	
3	介護・福祉タクシー ひかり	振内町 27-18	1 台（車椅子・ストレッチャー対応大型車）	2 人（60 歳代 1・70 歳代 1）	介護・福祉タクシー

資料：各ハイヤー・タクシー会社への調査結果（2023（令和 5）年 12 月時点）

表 3.2 町内のタクシー・ハイヤー事業者の実情

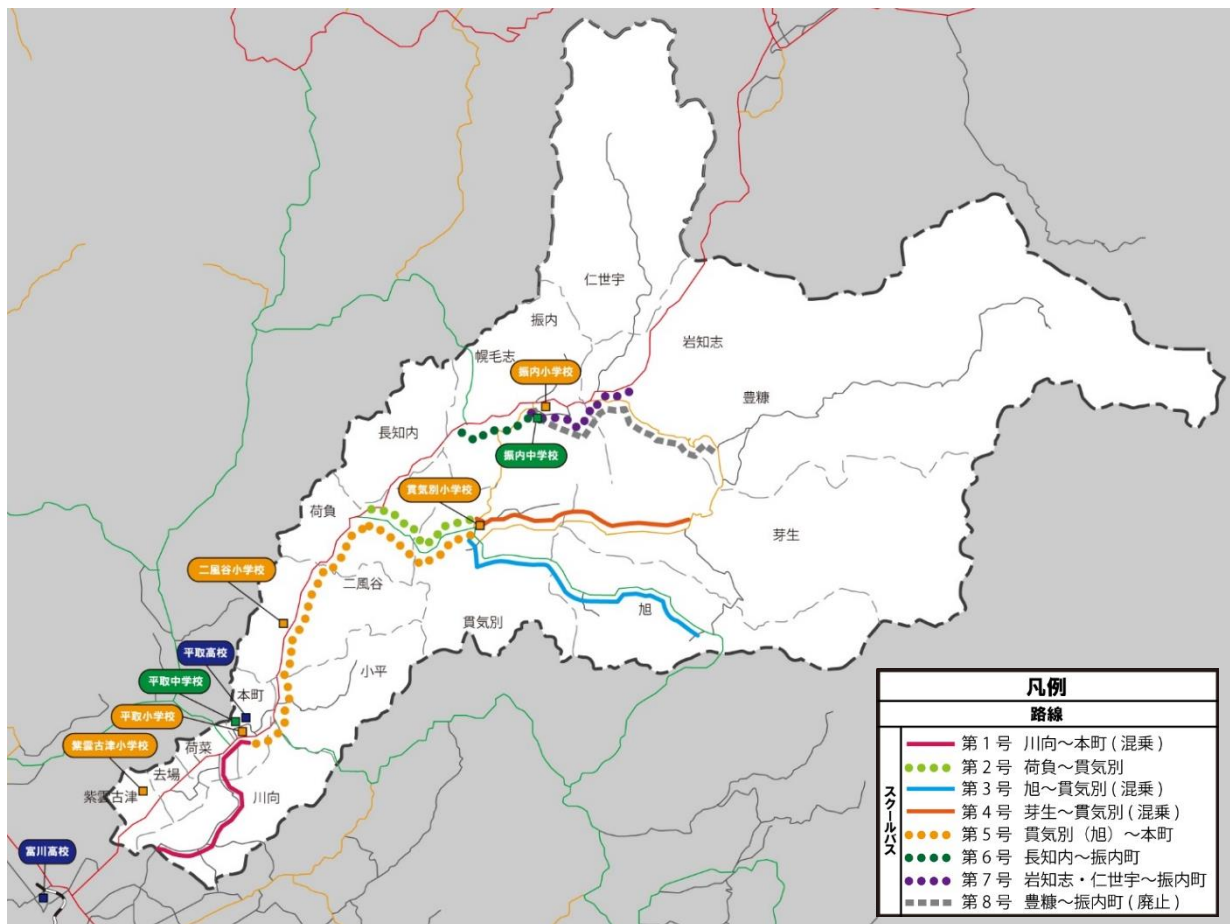
No	事業者名	実情
1	(有) 平取ハイヤー	・高齢者等による本町内や本町～日高町富川大町の利用や、観光客によるゆから～鵲川駅の利用など、毎日数件はハイヤー利用がありますが、利用者数としては減少傾向です。 ・ドライバーが1人しかおらず、今後の事業継承に課題があります。
2	(有) 振内交通	・以前にハイヤーをよく利用していた高齢者が地区からいなくなったこともあり、ここ数年でハイヤーの利用が大幅に減少しています。一週間以上、ハイヤー利用が無い場合もあり、ハイヤー事業の継続が難しい状況です。
3	介護・福祉タクシー ひかり	・時期的には冬期間（11～3月）の利用が多くなっています。行き先は門別国民健康保険病院が多いですが、新ひだか町や苫小牧市、札幌市など、町外の各地まで利用されています。 ・高齢者一人世帯、生活保護世帯が増加しており、人口透析の通院にも対応していますが、ドライバーの年齢的に、いつまで事業を継続できるか、課題があります。

資料：各ハイヤー・タクシー会社への調査結果（2023（令和 5）年 12 月）

3.4 町営の他の移動資源

(1) スクールバス

- ・第1～7号の7路線のスクールバスを運行しており（8号は利用生徒がいなくなったため2018（平成30年）5月に廃止）、うち、第1号川向～本町、第3号旭～貫気別、第4号芽生～貫気別は、一般混乗を実施しています。
- ・2022（令和4）年度のスクールバスによる通学者は56人であり、第1号川向～本町以外、減少傾向にあります。また、一般混乗を行っていない系統のうち、第2号荷負～貫気別、第6号長知内～振内町、第7号岩知志・仁世宇～振内町の通学者は、バス車両の定員15人の1/3程度となっています。
- ・2022（令和4）年度のスクールバス全路線の運行費用（車両購入費を除く）は約4,000万円となっています。



資料：平取町資料

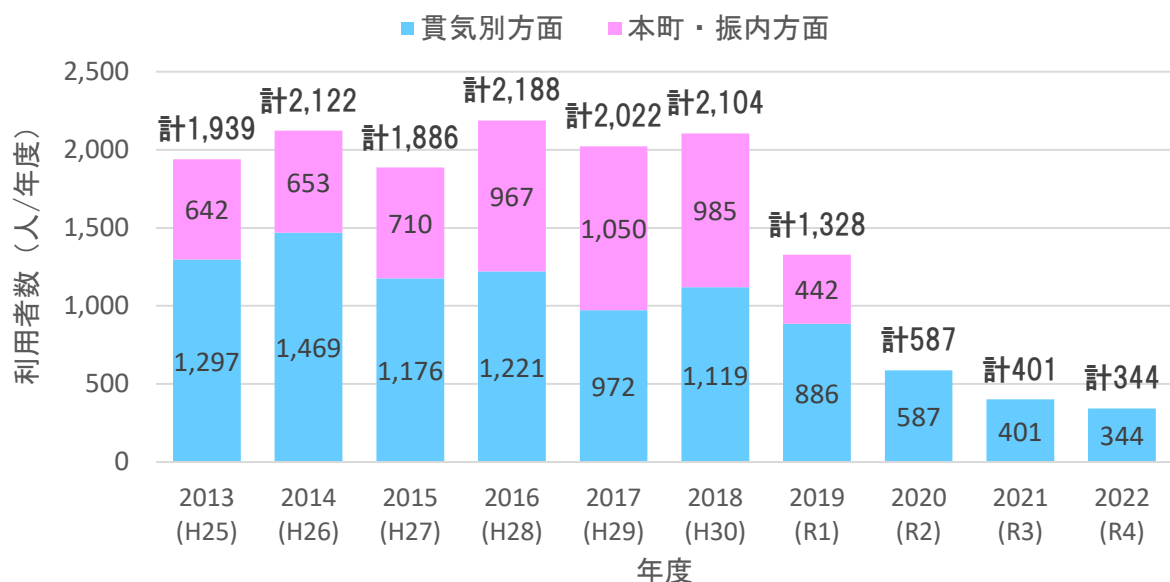
図 3.14 スクールバスの運行状況

(2) 町立病院送迎バス

- ・町立病院の患者送迎車（振内方面は、振内診療所への送迎）として、2003（平成 15）年 7 月から予約制による運行を開始しています。貫気別方面は 2009（平成 21）年 4 月より民間委託し、本町・振内地区方面は、2019（令和元）年度よりデマンドバス（試験運行）に統合しています。
- ・利用者数は、本町・振内方面も年間を通して運行されていた 2018（平成 30）年度までは年間 2,000 人程度で、そのうち、1,000～1,500 人程度が貫気別方面、650～1,000 人程度が本町・振内方面でしたが、2019（令和元）年度以降、運行が続いている貫気別方面の利用者数も減少してきており、2022（令和 4）年度は 350 人まで減少しています。
- ・貫気別方面の町立病院送迎バスの運行経費（委託料）は、年間 350 万円程度になっています。

【現在の運行概況】

- ・運行事業者：（有）晃照バス
- ・運 行 方 法：予約制
- ・運 賃：無料
- ・運 行 車 両：10 人乗り
- ・運行範囲・運行日・運行便数：
 - 貫気別・芽生：毎月～水、第 2,4,5 木、第 1,2,4,5 金
 - 旭：第 1,3 木、第 3 金、毎水（帰りのみ）、第 2,4 火（帰りのみ）
 - 豊糠：第 1 金



資料：平取町資料

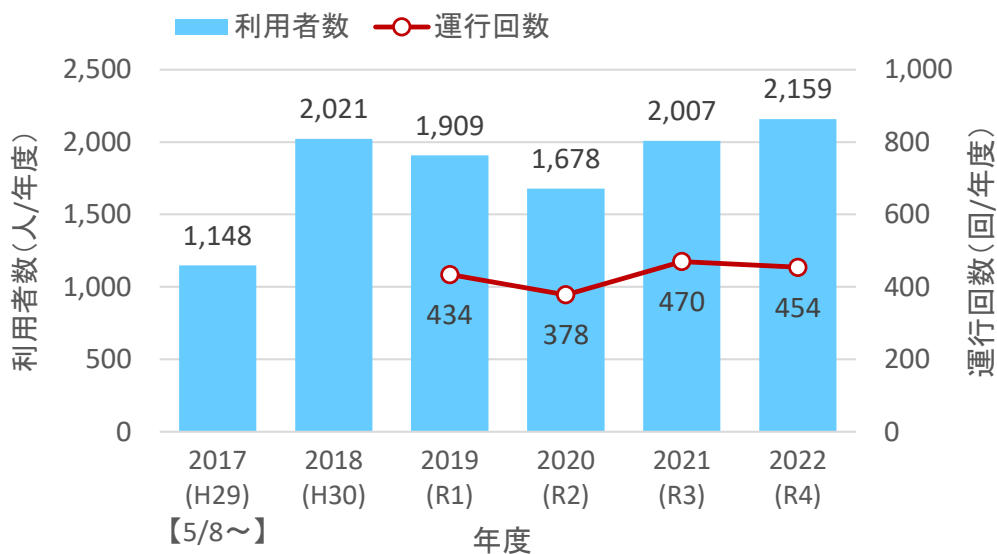
図 3.15 町立病院送迎バスの利用者数

(3) 社会福祉バス（びらっくる）

- ・びらとり温泉および農協（A コープ）へのアクセス手段として、2017（平成29）年5月8日より運行を開始しています。各地区を週2回運行（予約制）し、利用者は保健福祉課で事前に登録申請を行う必要があります。
- ・利用者数は、運行を開始した初年度は1,150人程度でしたが、以降は2,000人前後で推移しています。なお、2020（令和2）年度はコロナ禍により利用者数等が少なくなっています（2020年3～5月はコロナ禍により運休）。2022（令和4）年度の地区別の利用者数は、本町が特に多く（約750人）、続いて、貫気別（約375人）、紫雲古津（約300人）、振内町（約220人）、岩知志（約170人）が多くなっており、それ以外の地区は、年100人以下の利用になっています。
- ・2019（令和元）～2022（令和4）年度の運行経費は、270～350万円/年度となっています。

【現在の運行概況】

- ・運行事業者：社会福祉協議会
- ・運行方法：予約制
- ・運賃：無料
- ・対象者：65歳以上の高齢者・障害者手帳などを有する者・
上記の対象者に付き添いが必要な場合の同行者（事前承認が必要）
- ・運行車両：10人乗り
- ・ルート：曜日に応じて各地区とびらとり温泉（および農協間）を往復（各地区週2回）
- ・ダイヤ：午前中にびらとり温泉着、昼過ぎにびらとり温泉発



資料：平取町資料

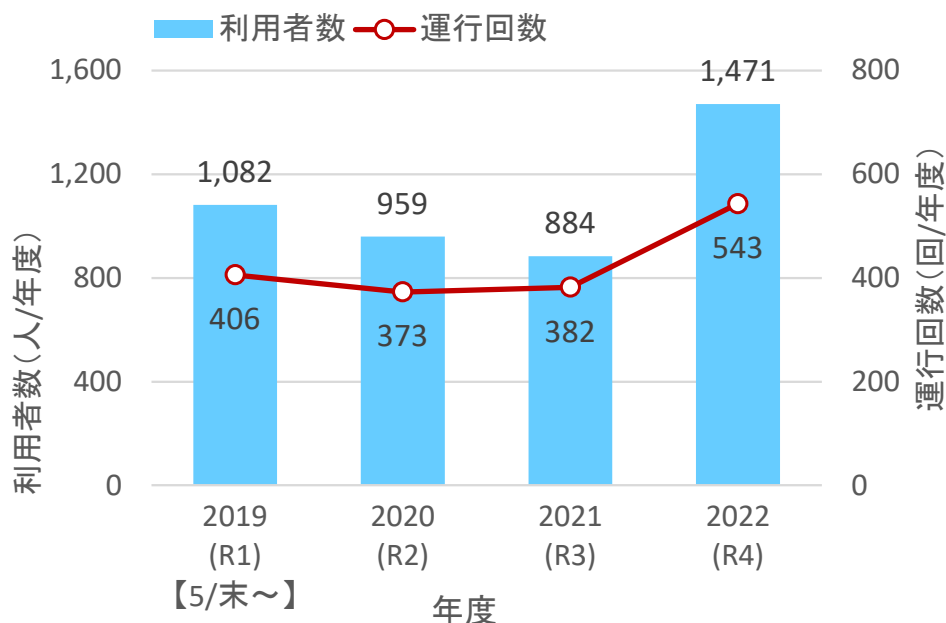
図 3.16 社会福祉バス（びらっくる）の利用者数（H29～R4）及び運行回数（R1～R4）

(4) サロン送迎バス

- ・サロン送迎バスは、交流サロンへの送迎を目的に、2019（令和元）年5月より試験運行が開始されています。交流サロンの開催に合わせて平日の午前と午後にそれぞれ1往復運行しており、各サロンの代表者が利用者を事前にとりまとめて運行事業者に連絡しています。
- ・利用者数は、運行を開始した初年度は約1,100人であり、2020（令和2）～2021（令和3）年度はコロナ禍の影響もあって利用者数が減少していますが、全道各地で開催されている「地域まるごと元気アッププログラム」（介護予防のスペシャリストが指導する高齢者のための運動教室）が2021（令和3）年に平取町でも試行され、2022（令和4）年4月以降に毎週正式開催されるようになったことから、その参加者の利用により、利用者数が約1,500人に増加しています。
- ・運行経費は、初年度は約250万円でしたが、2022（令和4）年度は約320万円に増加しています。

【現在の運行概況】

- ・運行事業者：社会福祉協議会
- ・運行方法：各サロンの代表者が事前にとりまとめて連絡
- ・運賃：無料
- ・運行車両：10人乗り
- ・ルート：利用者宅とサロン会場を往復
- ・ダイヤ：午前と午後にそれぞれ1往復



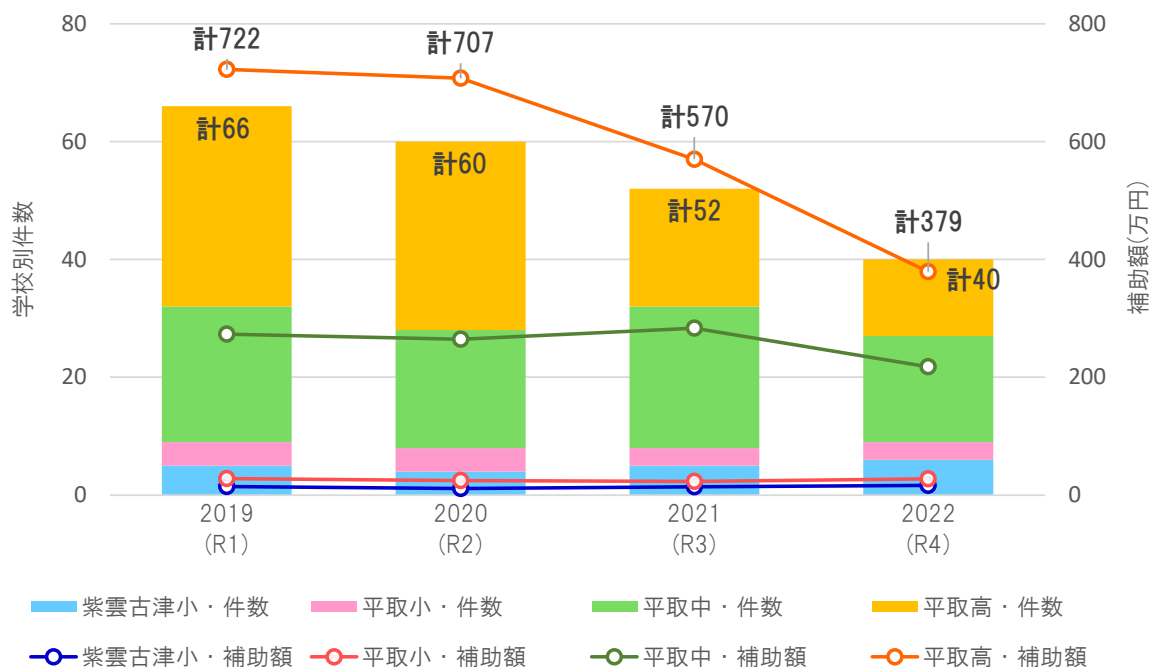
資料：平取町資料

図 3.17 サロンバス（コミュニティバス）の利用者数（R1～R4）及び運行回数（R1～R4）

3.5 町による公共交通に対する助成

(1) 通学補助

- ・ 遠方から路線バスで小中学校や高校に通学する児童・生徒を対象に、その通学費（バス運賃）を、個人負担額が小・中学生は無料、高校生は 1 ヶ月 10,000 円となるように町が負担しています。
- ・ 少子化が進んでいることから、通学補助の件数や金額は、近年、減少傾向にありますが、2022（令和 4）年度の補助額は計 379 万円（件数：計 40 件）であり、町が相応の財政負担を行っています。
- ・ 以前は、平取高校への通学に対する補助が最も多かったですが、2022（令和 4）年度は、平取中への通学に対する補助件数・金額が最大になっています。



資料：平取町資料

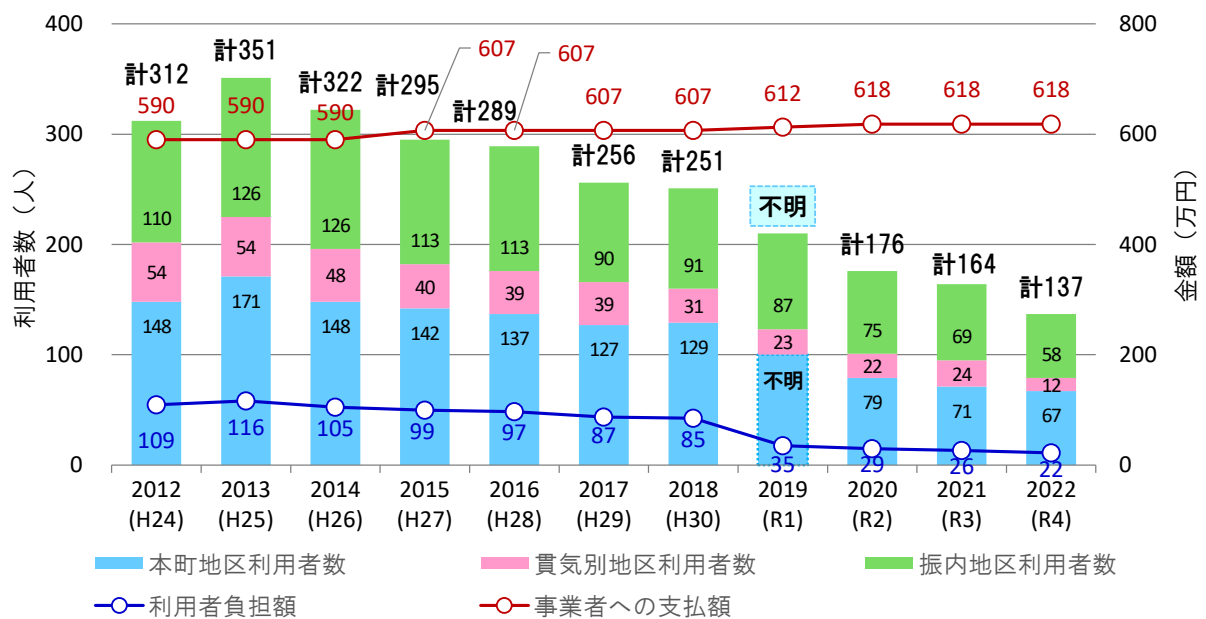
図 3.18 通学補助の件数・金額【R1～R4】

(2) 老人福祉バス券

- ・高齢者の福祉向上を目的として、下記の対象者に対して、町内の路線バスの利用が可能となる「老人福祉バス券」を年間 3,600 円（バス路線がない豊糠居住者は年額 1,800 円）で販売しています。

●対象者：満 65 歳以上の老人又は満 60 歳以上で身体障害者手帳を所持する者、もしくは 2 級以上の身体障害者手帳を所持する者

- ・老人福祉バス券に関する路線バス運行事業者への支払額は約 600 万円/年ですが、利用者数及び利用者負担額は、年々減少していることから、運行事業者への支払額から利用者負担額を除いた町の負担額は増加しています。



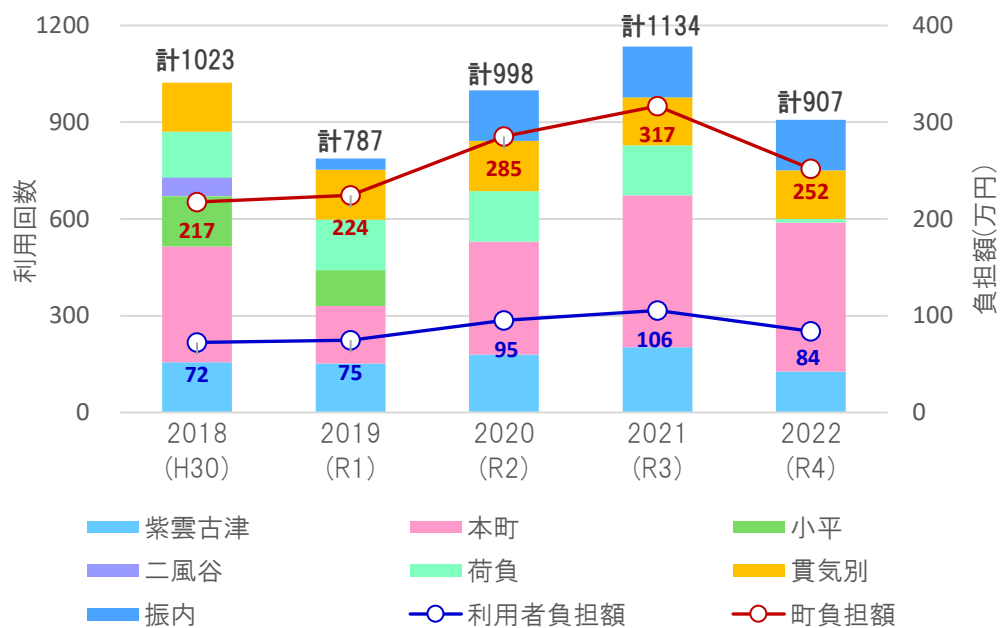
※2020（令和元）年の本町地区利用者数は不明

資料：平取町資料

図 3.19 利用者数、利用者負担額および運行事業者への支払額【H24～R4】

(3) 平取町重度障害者等ハイヤー料金給付事業

- 町内の重度障害者に対して、ハイヤー料金の一部を給付しています（利用者が支払うハイヤー料金の3/4）。
- 対象は、身体障害者手帳の交付を受けた下肢障害者、体幹機能障害者または視覚障害者の1級・2級重度障害者、人工透析の治療を受けるための通院であり、人工透析の治療を受けるための通院は、帰りの便に限り、1回の利用者負担の上限を1,000円になっています。
- 人工透析のための通院に対する給付は、年間800～1,000回程度で、町の負担額は200～300万円程度です。



資料：平取町資料

図 3.20 人工透析のための通院に対する給付の利用回数、町負担額【H30～R4】

3.6 町外の公共交通（広域交通）との接続

- 平取町本町と平取町外の主要な目的地（苫小牧市、札幌市、新ひだか町静内）の間の公共交通の移動について、公共交通により移動可能なルート（乗換を含めた利用する公共交通、各公共交通の発時刻・発地、着時刻・着地）を乗換は2回まで（静内は1回まで）として整理しました。

●苫小牧市（発着地：苫小牧駅）

往路は8ルートありますが、復路は4ルートと少なくなっています。

往路の通勤・通学時間帯に到着するルートは、路線バス⇒JR（鵲川駅乗換、ルート1）と路線バス直通（ルート2）の2ルートで、所要時間が他の時間帯に比べて短くなっています（1:30～1:50程度）。

復路4ルートの平取町への到着時間は13:15～18:45であり、午前中に平取に到着するルートがありません。また、1回乗換で平取町に戻れる最も遅い時間のルートの出発時刻は16:45（2回乗換でも17:02）であり、夕方の遅い時間になると、苫小牧から平取に公共交通で帰ってくることはできません。

●札幌市（発着地：札幌駅）

往路は6ルート（多客期は8ルート）ありますが、復路は4ルート（多客期は8ルート）と少なくなっています。

往路の1回乗換のルートは、日高町富川で高速ペガサス号に乗り換える3ルート（高速ペガサス号の全便に接続）と苫小牧行きの路線バスから沼ノ端駅で乗り換えるルートの計4ルートがありますが、乗換の待ち時間によって、所要時間は2:20～3:20程度と幅があります。

復路の1回乗換のルートは、日高町富川で高速ペガサス号から乗り換える2ルートがありますが、高速ペガサス号の最終便（札幌駅17:00発・日高町富川18:50着）には接続されていません（多客期運行の札幌駅8:00発・日高町富川9:50着の便にも非接続）。

●新ひだか町静内（発着地：静内バス停）

往路は9ルート、復路は6ルートあります。

往路は、静内行の路線バスによる直通が2ルートあり、日高町富川での1回乗換のルートが7ルートありますが、所要時間は、乗換の待ち時間によって、1:30～3:00程度まで差が大きくなっています。

復路は、平取行の路線バスによる直通が2ルートあり、日高町富川での1回乗換のルートが5ルートありますが、所要時間は、往路と同様に、乗換の待ち時間によって、1:30～2:30程度まで差が大きくなっています。

表 3.3 平取町本町～苫小牧市の公共交通による移動ルート（上：往路・下：復路）

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5	ルート6	ルート7	ルート8
乗換状況	1回乗換	直通	1回乗換	1回乗換	1回乗換	2回乗換	1回乗換	2回乗換
所要時間	1:31	1:52	2:11	2:21	2:53	2:20	2:11	2:55
平取 (本町)	路線バス 鵜川駅前 行	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 富川高校 行	路線バス 富川高校 行	本町デマンド ⑤便	本町デマンド ⑦便	路線バス 富川高校 行	路線バス 富川高校 行
	6:10 平取 発	6:45 平取 発	7:29 平取 発	8:29 平取 発	10:35 ふれあいセンタ- 発	13:25 ふれあいセンタ- 発	16:14 平取 発	17:40 平取 発
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	↓	↓	7:50 富川南 着	8:50 富川南 着	11:10 富川大町 着	14:00 富川大町 着	16:35 富川南 着	18:01 富川南 着
			乗換	乗換	乗換	乗換	乗換	乗換
			路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 鵜川駅前 行	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 鵜川駅前 行
			7:56 富川南 発	9:17 富川大町 発	12:00 富川大町 発	14:17 富川大町 発	17:13 富川大町 発	19:27 富川大町 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
鵜川	6:52 鵜川駅前 着	↓	↓	↓	↓	14:37 鵜川駅前 着	↓	19:47 鵜川駅前 着
	乗換					乗換		乗換
	JR 日高本線					JR 日高本線		JR 日高本線
	7:11 鵜川駅 発					15:16 鵜川駅 発		20:06 鵜川駅 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
苫小牧	7:41 苫小牧駅 着	8:37 苫小牧駅前 着	9:40 苫小牧駅前 着	10:50 苫小牧駅前 着	13:28 苫小牧駅前 着	15:45 苫小牧駅 着	18:25 苫小牧駅前 着	20:35 苫小牧駅 着
	苫小牧駅 着	苫小牧駅前 着	苫小牧駅前 着	苫小牧駅前 着	苫小牧駅前 着	苫小牧駅 着	苫小牧駅前 着	苫小牧駅 着

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート4'
乗換状況	直通	1回乗換	1回乗換	1回乗換	2回乗換
所要時間	1:50	2:02	2:05	2:00	1:43
苦小牧	路線バス 平取行	路線バス 静内行	路線バス 静内行	路線バス 静内行	JR 日高本線
	11:25	13:05	14:15	16:45	17:02
	苦小牧駅前発	苦小牧駅前発	苦小牧駅前発	苦小牧駅前発	苦小牧駅前発
↓	↓	↓	↓	↓	↓
鵡川	↓	↓	↓	↓	17:31 鵡川駅 着
					乗換
					路線バス 静内行
					17:49 鵡川駅前発
↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	↓	14:28 富川大町 着	15:47 富川南 着	18:17 富川南 着	18:17 富川南 着
		乗換	乗換	乗換	乗換
		本町デマンド ③便	路線バス 日高タミナル行	路線バス 日高タミナル行	路線バス 日高タミナル行
		14:32 富川大町 発	15:58 富川南 発	18:25 富川南 発	18:25 富川南 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓
平取 (本町)	13:15 平取 着	15:07 ふれあいセンター 着	16:20 平取 着	18:45 平取 着	18:45 平取 着

3. 地域公共交通の現状

表 3.4 平取町本町～札幌市の公共交通による移動ルート（上：往路・下：復路）

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5	ルート6	多客期のみ	
乗換状況	1回乗換	1回乗換	2回乗換	2回乗換	1回乗換	1回乗換	1回乗換	1回乗換
所要時間	2:49	2:21	2:55	4:03	3:18	2:40	3:41	2:30
平取 (本町)	路線バス 苫小牧駅前 行 6:45 平取 発	路線バス 富川高校 行 7:29 平取 発	路線バス 富川高校 行 8:29 平取 発	本町デマンド ⑤便 10:35 ふれあいセンター 発	本町デマンド ⑥便 11:32 ふれあいセンター 発	路線バス 富川高校 行 17:40 平取 発	路線バス 富川高校 行 8:29 平取 発	路線バス 富川高校 行 15:10 平取 発
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	↓	7:50 富川南 着	8:50 富川南 着	11:10 富川大町 着	12:17 富川大町 着	18:01 富川南 着	8:50 富川南 着	15:31 富川南 着
		乗換	乗換	乗換	乗換	乗換	乗換	乗換
		高速 ペガサス号	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 苫小牧駅前 行	高速 ペガサス号	高速 ペガサス号	高速ペガサス号 多客期運行	高速ペガサス号 多客期運行
		8:00 富川大町 発	9:17 富川大町 発	12:00 富川大町 発	13:00 富川大町 発	18:30 富川大町 発	10:20 富川大町 発	15:50 富川大町 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
沼ノ端	8:01 沼ノ端駅北口 着	↓	10:12 沼ノ端駅北口 着	12:56 アイスアリーナ 着	↓	↓	↓	↓
	乗換 JR 千歳線		乗換 JR 千歳線	乗換 高速 とまこまい号				
	8:16 沼ノ端駅 発		10:14 沼ノ端駅 発	13:22 アイスアリーナ 発				
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
札幌	9:34 札幌駅 着	9:50 札幌駅前 着	11:24 札幌駅 着	14:38 札幌駅前 着	14:50 平取 着	20:20 札幌駅前 着	12:10 札幌駅前 着	17:40 札幌駅前 着

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	多客期のみ
乗換状況	1回乗換	1回乗換	2回乗換	2回乗換	1回乗換
所要時間	2:55	2:27	2:24	2:42	3:55
札幌	高速バス ペガサス号 10:20 札幌駅前 発	高速バス ペガサス号 12:40 札幌駅前 発	JR 室蘭本線 13:56 札幌駅 発	JR 室蘭本線 16:03 札幌駅 発	高速ペガサス号 多客期運行 14:50 札幌駅前 発
	↓	↓	↓	↓	↓
沼ノ端	↓	↓	14:39 沼ノ端駅 着	16:49 沼ノ端駅 着	↓
			乗換	乗換	
			路線バス 静内 行 14:41 沼ノ端駅北口 発	路線バス 静内 行 17:11 沼ノ端駅北口 発	
↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	12:10 富川大町 着	14:30 富川大町 着	15:47 富川南 着	18:17 富川南 着	16:40 富川大町 着
	乗換 路線バス 平取 行 12:48 富川大町 発	乗換 本町デマンド ③便 14:32 富川大町 発	乗換 路線バス 日高タミナル 行 15:58 富川南 発	乗換 路線バス 日高タミナル 行 18:25 富川南 発	乗換 路線バス 日高タミナル 行 18:25 富川南 発
	↓	↓	↓	↓	↓
平取 (本町)	13:15 平取 着	15:07 ふれあいセンター 着	16:20 平取 着	18:45 平取 着	18:45 平取 着

高速ペガサス号運行ダイヤ						
往路 (札幌着便)	富川大町	8:00	10:20	13:00	15:50	18:30
	札幌駅前	9:50	12:10	14:50	17:40	20:20
復路 (札幌発便)	札幌駅前	7:50	10:20	12:40	14:50	17:10
	富川大町	9:43	12:13	14:33	16:43	19:03
多客期運行						

表 3.5 平取町本町～静内の公共交通による移動ルート（上：往路・下：復路）

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5	ルート6	ルート7	ルート8	ルート9
乗換状況	1回乗換	直通	1回乗換	1回乗換	1回乗換	直通	1回乗換	1回乗換	1回乗換
所要時間	1:32	1:39	1:47	3:01	2:45	1:31	2:15	1:50	1:50
平取 (本町)	路線バス 鵜川駅前 行	路線バス 静内 行	路線バス 富川高校行	路線バス 富川高校行	本町デマンド ⑤便	路線バス 静内 行	本町デマンド ⑦便	路線バス 富川高校行	路線バス 富川高校行
	6:10 平取 発	7:10 平取 発	7:53 平取 発	8:29 平取 発	10:35 ふれあいセンター 発	12:35 平取 発	13:25 ふれあいセンター 発	15:10 平取 発	17:40 平取 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	6:31 富川大町 着	↓	8:14 富川南 着	8:49 富川市街 前	11:10 富川大町 着	↓	14:00 富川大町 着	15:31 富川南 着	18:01 富川南 着
	乗換		乗換	乗換	乗換		乗換	乗換	乗換
	路線バス 静内高校前 行		路線バス 静内 行	路線バス 静内 行	路線バス 静内 行		路線バス 静内 行	路線バス 静内 行	路線バス 静内 行
	6:34 富川南 発		8:29 富川南 発	10:19 富川市街 前	12:08 富川大町 発		14:28 富川大町 発	15:47 富川南 発	18:17 富川南 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
静内	7:42 静内 着	8:49 静内 着	9:40 静内 着	11:30 静内 着	13:20 苫小牧駅前 着	14:06 静内 着	15:40 静内 着	17:00 静内 着	19:30 静内 着

ルートNo	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5	ルート6
乗換状況	1回乗換	直通	1回乗換	1回乗換	直通	1回乗換
所要時間	1:35	1:31	2:25	1:57	1:39	2:35
静内	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 平取 行	路線バス 苫小牧駅前 行	路線バス 鵜川駅前 行	路線バス 平取 行	路線バス 苫小牧駅前 行
	8:10 静内 発	9:25 静内 発	10:50 静内 発	13:10 静内 発	14:20 静内 発	16:10 静内 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
日高 (富川)	9:15 富川市街 着	↓	12:00 富川大町 着	14:17 富川大町 着	↓	17:11 富川市街 着
	乗換		乗換	乗換		乗換
	路線バス 平取 行		路線バス 平取 行	本町デマンド ③便		路線バス 日高ターミナル 行
	9:26 富川市街 発		12:48 富川大町 着	14:32 富川大町 発		18:26 富川市街 発
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
平取 (本町)	9:45 平取 着	10:56 平取 着	13:15 平取 着	15:07 ふれあいセンター 着	15:59 平取 着	18:45 平取 着